

News Release

2026 年 10 月 20 日

KDDI 株式会社

KDDI Digital Life 株式会社

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス

**「ConnectIN povo」ラインアップ追加、povo を組み込んだ
モバイル Wi-Fi ルーターを富士ソフトから提供開始**

～基本料 0 円で 1 年間 10GB の povo2.0 データ容量を付帯、有事の備えや見守り用途で手軽に購入可能～

KDDI 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：松田 浩路、以下 KDDI）、KDDI Digital Life 株式会社（本社：東京都千代田、代表取締役社長：濱田 達弥、以下 KDDI Digital Life）、株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：向吉 智樹、以下 Wi2）は、2026 年 10 月 20 日から、PC や IoT 機器などさまざまな製品やサービスに通信を組み込み個人向けに提供する「ConnectIN povo」の対象製品に、富士ソフト株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 室岡 光浩、以下 富士ソフト）のモバイル Wi-Fi ルーター「+F FS045W（+F ConnectIN povo 対応モデル）」（以下 本製品）を追加します。

本製品は、au 回線の 4G LTE 通信が利用できる（注 1）povo2.0 のデータ容量 10GB（1 年間）と、Wi2 提供の公衆 Wi-Fi サービス「ギガぞう Wi-Fi」（1 年間）が組み込まれた、「+F ConnectIN povo」対応モデルです。購入後に povo2.0 アカウントの登録を行うだけで（注 2）利用開始でき、製品本体を購入すれば基本料 0 円（注 3）で 1 年間 10GB の povo の通信をご利用いただけるため、月額固定費をかけずに有事の備えや見守り用途の通信手段を確保することが可能です。

月額固定費が発生しない特徴を活かし、災害時にスマートフォンなど連絡手段として使用しているデバイスの電池消耗を抑えながら通信を確保する手段や、離れて暮らす家族のプライバシーを守りながらデータの消費履歴を通じて安全を検知する見守り手段など、有事の備えや見守りのニーズに応えていくことを目指します。

なお、24 時間データ使い放題（注 4）などの専用トッピングから選択し、追加でデータ容量を購入することも可能です。

KDDI はこれからも povo SDK（Software Development Kit）の仕組みを利用し、必要なデータを選んで購入できる povo の通信を、さまざまなデバイスに組み込んで提供していくことを目指します。



<本製品のイメージ>

■背景

- ・KDDI は 2025 年 1 月からメーカーさまなど企業製品に一定期間の通信料を組み込んで法人向けに販売するビジネスモデル「ConnectIN」を提供開始（注5）、2025 年 7 月から個人向けのビジネスモデルとして「ConnectIN povo」を提供開始（注6）しました。
- ・「ConnectIN povo」ではこれまでモバイル PC に組み込んだモデルを提供し、個人運営やクリエイターなど日常的に PC を個人利用される方のニーズに対応してきました。
- ・AI の普及などによる PC 価格の高騰や、災害や緊急事態への備えとして有事の通信確保も重要性を増している中で、「日常的に利用しているスマートフォン以外の通信手段も持ちたいが、コストは抑えたい」「離れて暮らしている家族のデータ消費量を確認することで、見守りに役立てたい」などのさまざまなニーズを受け、モバイルルーターを対象製品に追加します。

■本製品について

1. 対応ルーター

+F FS045W（4G LTE 対応ルーター）

2. 対応する通信サービス

（1）+F ConnectIN povo

- ・povo が提供する au 回線の 4G LTE 通信に対応
- ・データ容量 10GB（1 年間）利用可能
- ・別途、追加のデータ購入が可能

（2）ギガぞう Wi-Fi

主要カフェ・飲食チェーン店など、全国 10 万以上のスポットにおいて、高セキュリティな Wi-Fi が 1 年間利用可能。VPN 機能によって、暗号化されていないフリー Wi-Fi にも安全に接続できる機能を提供。

※ 1 年間経過後は自動解約となります。別途、月額 590 円（税込）にてご契約が可能です。

3. 発売場所

富士ソフト「+F ConnectIN povo」特設サイト

<https://info.fsi-plusf.jp/f-connectin-povo>

4. 発売日

2026 年 10 月 20 日

富士ソフト株式会社のニュースリリースはこちら

(URL : <https://www.fsi.co.jp/company/news/20261020.html>)

(参考)

■povo SDK について

povo SDK (Software Development Kit) は、povo の通信を自社サービスに組み込み、オリジナルのプランを提供できるオープン通信サービスです。動画/音楽などのサブスクサービス、電子チケットやスマホ決済の普及などにより、日々の生活のあらゆる場面において、通信がより一層必要とされています。そこで、これまで数十種ものトッピングを提供している povo だからこそ実現できる、各サービスに溶け込んだ新たな通信の形「povo SDK」を提供しています。

特定サービスのデータが使い放題になるなど、ここでしか購入できないオリジナルトッピングの提供が可能です。日数/データ量も柔軟にカスタマイズでき、自社サービスを利用するお客さまにあわせた最適なトッピングを実現できます。

povo SDK 特設サイト：<https://povo.jp/open-telecom-sdk/>

(注 1) povo は au 5G Fast Lane には非対応。(2026 年 10 月 20 日時点)

(注 2) 利用開始にはアクティベートが必要です。アクティベート手順はこちら

(URL：https://chp.wi2.ne.jp/manual/esimconnectlitebypovo_manual.pdf)

(注 3) オンライン専用。180 日超の継続利用に一定の条件有。0 円 0GB 時最大 128kbps。

データ専用の場合、契約時初回トッピング購入要。通話+データの場合、通話料等別途要。

(注 4) ネットワークの混雑時や動画・クラウドゲームなどの利用時に通信速度を制限する場合があります。

(注 5) 2025 年 1 月 21 日 ニュースリリース

製品やサービスに通信を一体化する「ConnectIN (コネクション)」を提供開始

(URL：https://newsroom.KDDI.com/news/detail/KDDI_nr-398_3670.html)

(注 6) 2025 年 7 月 31 日 ニュースリリース

デバイスに povo を組み込んだ「ConnectIN povo」第 1 弾を日本 HP から提供開始

(URL：https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_nr-673_4039.html)

※特に記載のない場合すべて税込です。

※会社名、各製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以上